

米国特許商標庁 (USPTO)、  
子供の創作意欲を高めるための広告キャンペーンを開始

2008年8月5日  
JETRO NY 中楨、横田

USPTO は 7 月 31 日、発明者殿堂 (NIHFF) と共に全米公共広告機構 (Ad Council) と連携し、イノベーションにおける次世代の子供達の創作意欲を高めることを目的とした公共広告 (PSA) を開始すると発表した<sup>1</sup>。テレビ、ラジオ、屋外看板、ウェブサイトでの広告を通じた PSA キャンペーンは第 2 弾であり、発明することを子供達の生活の一部とすることが今回の狙い。

発表によれば、国際競争が強まる中、技術とイノベーションで米国のリーダーシップを維持するためには、将来世代のイノベーターの意識喚起が必須であり、今回の PSA は、特に 8 歳から 11 歳を対象に、想像力がどのように将来の技術進歩を導くかを教え、独創的な好奇心や想像力に富んだアイデアはどんなものも発明につながると訴えるとともに、最終目標は、教養、延いてはキャリアの一部として発明・イノベーションを追求する意欲を喚起させることとしている。

デュダス USPTO 長官は、発表に際し、「USPTO は、若い世代が持って生まれた創造性と発明精神を見いだせるよう、各メディアを通じた発明意欲を高めるキャンペーンの支援にエキサイトしている。キャンペーンは新たな段階に入り、今回は、子供達に彼らの才能と知識が、彼らが世界を良い方向へ変えるのにどのように役に立つのかを示すことにより、アメリカの発明の伝統を強くするものと確信している。」とのコメントを寄せている<sup>2</sup>。

また、キャンペーンに併せ、子供向けウェブサイト「InventNow<sup>3</sup>」では、新たにゲームが楽しめるショールームや全米の子供達の発明を紹介するギャラリーの追加がなされたが、当該ゲームやギャラリーは、デジタル技術を活用し、子供が楽しめる構成となっている。

公共広告は、全米の 33,000 の放送局等で配信される予定であり、テレビやラジオ等のコマーシャルは、Ad Council ウェブサイト上のキャンペーンページで視聴が可能である<sup>4</sup>。

なお、USPTO は、続く 8 月 4 日、USPTO ミュージアム内の新たな教育用展示物である電子版「肖像画館 (Portrait Gallery)」の設置を発表<sup>5</sup>。デジタル技術を活用し、米国知的

<sup>1</sup> <http://www.uspto.gov/web/offices/com/speeches/08-30.htm>

<sup>2</sup> USPTO は子供向けの知財教育活動に積極的であり、同発表においても USPTO の継続的な啓発・教育活動に言及。USPTO が支援する発明キャンプ (Camp Invention) は 17 年目となるが、2008 年は 47 の州で 60,000 人以上の参加が見込まれるとしている。併せて [080415【米国 IP 情報】米国特許商標庁、オンラインによる子供向け知的財産教育カリキュラムを提供](#) 参照。

<sup>3</sup> <http://www.inventnow.org/>

<sup>4</sup> <http://www.adcouncil.org/default.aspx?id=396>

<sup>5</sup> <http://www.uspto.gov/web/offices/com/speeches/08-31.htm>

財産制度に貢献した過去・現在の個人<sup>6</sup>に着目し、米国の知財制度の歴史や成長を紹介するものであるとしており、啓発活動を重視する USPTO が、着実にその活動を拡充している。

(了)

---

<sup>6</sup>トマス・ジェファーソン(元大統領)、ジェームス・マディソン(元大統領)、トーマス・エジソン(発明家)、ヘレン・フリー(化学者)、スティーブ・ウォズニアック(Apple Inc.共同設立者)、ジョン・デュダス(USPTO 長官)